

ひと×まち防災ワークショップを開催

－ 防災体験により、地域全体で「もしもの災害」に備えるまちづくりを推進－

MEC Industry 株式会社（以下 MEC Industry）と三菱地所レジデンス株式会社（以下 三菱地所レジデンス）は、2025 年 11 月 24 日に鹿児島県始良郡湧水町において「ひと×まち防災ワークショップ」を開催し、防災をテーマとした体験授業を実施しました。

MEC Industry は、湧水町内において地震や風水害等の災害発生時または発生するおそれがある場合に、地域の皆さまの安全確保を図ることを目的とした「災害発生時における支援協力に関する協定」を締結しています。今回は、地域のみなさまと助け合い、安心して住み続けられる持続可能なまちづくりの体制を構築するための取り組みとして、2025 年 8 月に鹿児島県内で発生した豪雨災害により従業員自身が被災した経験から、町子どもたちにも日々の備えを自分ゴトとして考え、話し合いながら防災について考えるプログラムを提供しました。



▲防災授業の様子



▲防災授業の様子

ワークショップでは三菱地所グループが長年培ったノウハウを取り入れ、マンションで多くの防災訓練のサポートや防災授業を実施している三菱地所レジデンスと連携し、東日本大震災や熊本地震等の被災地の生の声を基にして三菱地所レジデンスが開発した防災ツール「そなえるドリル」を活用しました。



三菱地所グループは長期経営計画 2030 の社会価値向上戦略において、サステナブルな社会実現に向けて注力すべき「三菱地所グループと社会の持続可能性 4 つの重要テーマ」を策定し、そのひとつに「次世代に誇るまちのハードとソフトの追求」を掲げています。MEC Industry と三菱地所レジデンスは、まちのレジリエンス向上につながる防災の取り組みを通じ、世代を超えて愛されるまちづくりを推進してまいります。

■「ひと×まち防災ワークショップ」の概要

開催日時：2025年11月24日（月・振替休日） 14:30～15:30
開催場所：MOKUWELL 湧水ビレッジ（鹿児島県始良郡湧水町木場 2855-1）
参加費用：無料
主 催：MEC Industry 株式会社
後 援：三菱地所レジデンス株式会社
参 加 者：4名

【実施プログラム】

- ・「そなえるドリル」を活用した防災ワークショップ
- ・いざという時を考える「防災クッキング」



▲そなえるドリル体験の様子



▲防災クッキングの様子

【参加者のコメント】

- ・いつ災害が起こるかわからないから、備えることが大切だと思った。家族と話し合ったりしておくのも大事だと思う。
- ・いつ災害が起こるかわからないから、災害が起きた時のために、凝固剤を家に置いたり、色々な人に挨拶しようと思った。
- ・常にトイレをきれいにしようと思った。
- ・トイレが使えなくなった時に、どうやってトイレをすればいいのか分かった。これから自分たちが何をすればいいのか理解できた。
- ・災害時にトイレをしたい時のやり方や処理の仕方がわかった。

【参考】三菱地所グループの防災への取り組みについて

三菱地所グループは、1923 年の関東大震災以来約 100 年「防災」に取り組んでまいりました。毎年 9 月 1 日前後には、東京・丸の内エリアを中心に三菱地所グループ社員約 2,000 名および関係先が参加する総合防災訓練を実施しておりますが、2023 年の第 97 回より「ひと×まち防災訓練」と名称変更しました。三菱地所グループのブランドスローガン「人を、想う力。街を、想う力。—私たち三菱地所グループは、チャレンジを続けます。」を体現する取り組みの一つとして、当社グループ社員のみならず、就業者や来街者など多くの方に向けた、よりまちに開かれた防災訓練を目指しています。

また三菱地所レジデンスでは、三菱地所グループが長年培ったノウハウを取り入れ、マンションのハード面に加え、防災マニュアルや防災訓練を積極的に実施・サポートしています。

防災意識の向上や訓練の進化・深化を目的に、三菱地所レジデンスの社員有志による組織「三菱地所グループの防災倶楽部」を 2014 年 10 月に立ち上げ、現在は三菱地所レジデンスと管理会社・三菱地所コミュニティの約 170 名の社員で防災に取り組んでいます。防災倶楽部はマンション管理組合に対し、新たな訓練メニューなどを提案しており、これまでに三菱地所コミュニティが管理するマンション 171 物件・60,751 世帯を対象とした防災訓練をサポートしています。

今後も災害に対し、迅速に対応できる体制構築を広く浸透させていくべく、防災力強化のための活動を行ってまいります。

【参考】「そなえるカルタ」「そなえるドリル」について

東日本大震災・熊本地震等の生の声を届けるために、実際に困ったことを「トイレ」・「食糧」・「情報」といった切り口で伝える防災ツール「そなえるカルタ」。

子どもと大人が家族を想定して考える防災ツール「そなえるドリル」。

自分や家族のことを実際に書き、大人と相談して答えを出す要素を取り入れ具体的な行動につなげます。

この「そなえるカルタ」と「そなえるドリル」は、ザ・パークハウスの防災プログラムホームページ上で“ドナタデモ”ダウンロードが可能です。

ザ・パークハウスの防災プログラムホームページ <http://www.mecsumai.com/bousai/>



以 上